

お茶会だより 10月号

矢島保育園 1130、11、1 (木)

鳥海山麓地区総合案内所のお稽古は今日で最後となります。子ども達も和室でのお稽古にすっかり慣れ敷居を踏まらずに自然に歩けるようになっていほす。

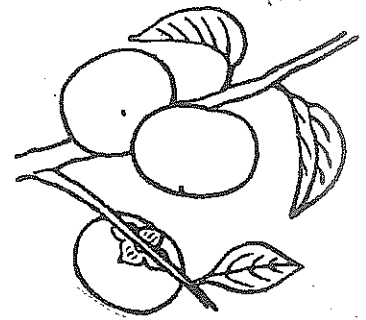
床の間

掛け軸～柿

香合～柿

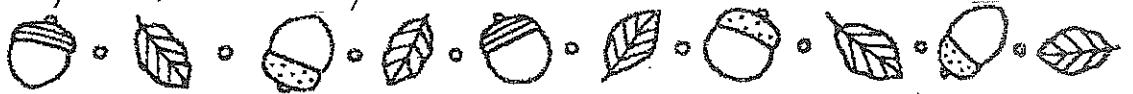
お花～セウキ、ムウサキシキア、コギク

お菓子～柿(うづう)



この日はいつにたく背筋がバツン！と伸び、静かた気持ちで臨んだ子ども達、植田先生からの「楽しみにしているからであつてさっそくはじめましょう!!」という一言で始まりまほす。お客様も4名と決まいらしてしまほすが、しっかり集中して取り組む姿からは大きな行事を乗り越えた自信が感じらほました。

先生から「皆さんお箸の使い方が上手であほす」とほめていたほすまほすに、その時だけ上手にやろつとしてもできないものゝ普段からの箸使いが自然と出るものであほす、というお話があらほすに。これは箸使ただけでなく全てのことに通ずる事だと思ほすまほすのゝ普段の生活を意識しいまほすに感じらほすに。



毎月のお稽古の中で作法が大分身に付いてきておほす、自分で次の作法を考へて行へる子も増えてきておほす。次回からはゆうき室でのお稽古、また場所が変わらほすがいつも通り自信を持って取り組んでいきまほすと思ほすまほす。

【今月の床の間】



《掛け軸》～柿

《香合》～柿

《茶菓子》～柿（外郎）

《茶花》～コギク・ムラサキシキブ・ヒオウギ



鳥海山地区総合案内所でのお稽古も、今月が最後となりました。
秋が深まりつつある景色を映して、柿づくしの床の間です。



「みなさんの、早くお稽古をしたいという気持ちが伝わってきます」という植田先生の言葉からスタートしたお稽古は、終始落ち着いた雰囲気で行われました。

今月は、伊藤昌子さん、佐々木ひとみさん、畑澤英子さん、嵯峨佳苗さんの4名がお客様としてお茶会に参加してくださり、皆さん、子ども達の姿に感心し切っていました。



上から取って、下から支えて…。



甘い…。ん？柿の味がする…！？



そ〜っと置いて…。畳の縁から出さないように…。
「お茶をどうぞ」

お箸の使い方も上手になってきました



お客様達からは、「とても立派です。箸の使い方がとても上手で、普段の生活が表れていると感じました。」と、子ども達の自信につながる言葉をたくさんかけてもらいました。ありがとうございました。

来月からは、久しぶりに保育園でのお稽古となります。